

学習指導要領		都立足立高校 学カスタンダード
<p>(1) ア 自然環境と歴史</p> <p>世界の歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>いざない</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史</p> <p>日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>四大文明の概略及び特徴を、自然環境と関連付けながら学ぶ。</p> <p>治水・灌漑が国家の成立・身分社会の成立に大きくかかわっていることを知る。</p> <p>日本に伝来した世界の文化、来日した人物等について学び、日本と世界をつながりを知る。</p> <p>キリスト教・仏教・イスラム教について学ぶ。</p>	

学習指導要領		都立足立高校 学カスタンダード
<p>(2) ア ユーラシアの諸文明</p> <p>世界 の 一 体 化 と 日 本</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p>	<p>ア ユーラシアの諸文明</p> <p>自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p> <p>イ 結び付く世界と近世の日本</p> <p>大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16世紀から18世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p> <p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成</p> <p>産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p> <p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本</p> <p>ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<p>東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパの文明の特徴を、具体的な王朝・国家を例示し、宗教・社会・文化について学ぶ。</p> <p>「シルクロード」・「海のシルクロード」・「オアシスの道」など、東西交流の舞台について様々なトピックをあげて学ぶ。</p> <p>大航海時代・ルネサンスについて理解し、続く宗教改革、市民社会の成立の展開へと知識を深める。</p> <p>中国の王朝について具体的に学ぶ。</p> <p>新大陸植民地の成立について理解する。</p> <p>産業革命の成立過程について学ぶ。</p> <p>フランス革命・アメリカ独立革命について知り、市民社会の成立について理解する。1815年・1830年・1848年に注目しながらヨーロッパ社会の様相を学ぶ。</p> <p>列強の中国進出・植民地化と、日本の開国・明治維新・日清・日露戦争前後に視点を定めながら社会の変化を学ぶ。</p>

	学習指導要領	都立足立高校 学カスタンダード
<p>(3) 地球社会と日本</p>	<p>急変する人類社会                      科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p> <p>イ 世界戦争と平和                      帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解させ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向                      第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題                      1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望                      現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>「大衆社会」の出現・第二次産業革命について学ぶ。</p> <p>帝国主義・ベルサイユ体制・ワシントン体制・二つの世界大戦・ソ連の成立について、背景・影響を学ぶ。                      世界恐慌・ファシズムの台頭について学ぶ。</p> <p>冷戦と第三世界の台頭について学ぶ。                      1960年「アフリカの年」を具体例に、アジア・アフリカの民族運動について学ぶ。</p> <p>市場経済のグローバル化・冷戦の終結・ソ連の崩壊について学ぶ。                      ヨーロッパ統合・EUについて学ぶ。いまだ続く地域紛争について知る。</p> <p>『持続可能な社会』の実現のため、環境問題を含めた、現在私たちが抱える問題を、様々な例を挙げながら知り、解決策を模索する。</p>

教科：地理歴史 科目：世界史A

作成様式